

岩手医科大学大学院歯学研究科概要

1. アドミッションポリシー

本学大学院学則では「医学、歯学及び薬学に関する学術の理論および応用を教授研究し、その深奥を究めて文化の進展に寄与することを目的及び使命とする」と謳っています。歯学研究科では、これを踏まえ、高い研究能力と地域医療の実践能力を有する人材の育成を目指しています。

【博士課程】

歯学研究科では、次のような人材を求めています。

1. 先進的な歯科医学に深い探究心がある人
2. 国際的な広い視野に立つ生命科学研究者を志す人
3. 高度臨床歯科医師として地域歯科医療の発展に貢献できる人
4. 豊かな人間性を持ち、物事に柔軟な対応ができる人
5. 常に問題意識を持ち、断続的に自学自習のできる人

多様な人材を募るために、一般選抜と社会人特別選抜試験を行います。

選抜試験では、外国語試験によって国際的な研究水準および研究成果の発信に必要な語学力を有することを確認します。さらに、専門試験によって、先進的な研究に必要な専門領域の知識・技能の基礎的な力の有無を判断します。

2. 課程及び修業年限

本研究科に4年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格しなければならない。

ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績をあげたと認められた者については、3年以上在学すれば足りるものとする。

3. 専攻別学科目の代表教員及び指導内容

別表のとおり

4. 履修の方法

学生は、所定の期間内に下記のとおり各学科目、及び共通必修科目を履修する。

1. 主 科 目 20単位以上（共通必修科目含む）
2. 副 科 目 6単位以上
3. 選択科目 4単位以上

5. 昼夜開講(大学院設置基準第14条による教育方法の特例)による履修及び研究について

近年の社会人の生涯教育への要望に応えるため、社会人が最新の歯科医学の知識・技術を学び、高度な歯科医学研究能力を身に付けることを可能にするため昼夜開講制を採用している。

昼夜開講制とは、夜間（18:00～21:10）や特定の時間（時期）に授業および研究指導の時間を設け、現在地域医療に携わっている開業医や病院勤務医等の社会人が、大学院の授業及び研究指導をより受け易くするための制度である。

- ・臨床研修医は夜間または土曜日の授業（講義・実験および演習等）を受けることになり、1年目は6単位以上を履修することが望まれる。
- ・臨床研修医以外の社会人の授業は、夜間、土曜日及び社会人の多くが休暇等をまとめてとり易い夏季休暇期間等の履修も可能で、年間12単位以上の履修が望まれる。

時 限	授 業 時 間	備 考
1	8 : 5 0 ~ 1 0 : 2 0	通常の授業時間帯
2	1 0 : 3 0 ~ 1 2 : 0 0	
3	1 3 : 0 0 ~ 1 4 : 3 0	
4	1 4 : 4 0 ~ 1 6 : 1 0	
5	1 8 : 0 0 ~ 1 9 : 3 0	夜間の授業時間帯
6	1 9 : 4 0 ~ 2 1 : 1 0	